



今回の2年部1学期の人権・同和教育の特別授業は、谷本先生が担当されました。テーマは2つ！1つ目は「差別・いじめは夢を奪う」というテーマで、先生ご自身の小学生時代に、友達からの思われぬ一言に傷ついた経験談を語り、「自分ならどうする？」という質問を生徒たちに投げかけて対話させ、素直な意見を引き出しました。また2つ目のテーマは、「あなたは、(親から)命よりも大切な存在として愛情を受けている存在である。」というテーマで、先生が親になった時の、わが子に対する想いやこれからの子供たちに対して抱いた想いなどを語っていただきました。やがて社会に巣立ち、その一員として社会を支え、家庭を築いていく生徒たちに篤いエールを送っていただきました。

研修から学んだこと・感想・・・

自分がお母さんになったらという気持ちは全く想像が付きませんが、授業の途中に流れた動画のお母さんたちの気持ちは分かりました。だから(自分たちが親から見れば)「命よりも大切な集団」であるという言葉が胸に突き刺さりました。これを念頭に置いて生活すれば、見える世界が変わっていくだろうと思いました。何だかんだ、今のうちは自分が1番大切ですが、自分以外の周囲の人たちに対しても、その人はどこかの誰かにとっての「1番大切な人」なんだという意識をもって接していきたいと思いました。

私は高齢出産で生まれてきました。その時母は、生むのかやめるのか悩んだそうです。母は当時40歳で、体に負担がかかるから危ないかもしれないと言われたこともあって、どうしようと父と一緒に悩み考えた末に、私を生むことを決心したそうです。私が大きくなってから、母は「少し悩んだりもしたけど、あなたを生むことを決心して後悔したことは一度もないし、あなたに会えて本当に良かった」とはっきり言ってくれたことが、すごく嬉しかったことを今でも覚えています。今回の人権集会でその時のことを思い出し、改めて命を大切にしないといけないなと思いました。

自分の何気ない一言や行動で、知らないうちに誰かが傷ついたり、誰かの夢を奪っているかもしれないんだなと思いました。なので、これからはなるべく相手の気持ちを考えながら、自分の言動に気を付けようと思いました。